議　事　録

平成27年６月24日定例教育委員会を北島町総合庁舎６階視聴覚室において開催した。

１　会議に出席した委員
　１番　久湊　　薫　委　員
　２番　板東　　久男　委員長
　３番　北島　　孝昭　教育長
　４番　巻島　　恵子　委　員
　５番　三好　久美子　委　員
　６番　辻村　　邦雄　委　員

２　会議に出席した事務局職員
　教育次長　　小西　昌幸
　事務局局長　尼寺かつ美

３　会議に欠席した委員
　な　し

４　本会の書記
　教育次長　　小西　昌幸

５　議題
（１）小中一貫教育（徳島モデル）推進事業について
（２）北島町国際交流研修事業について
６　その他

委員長　午後６時00分開会し、あいさつの後、議事録署名者を会議に諮り、次のとおり選任する。
　５番　三好委員
　６番　辻村委員

委員長　それでは、議事に入りたいと思います。議事(１)について事務局からご説明お願いします。

局　長　本年度、県から指定を受けて、この６月議会で補正予算80万円を計上して、「小中一貫教育（徳島モデル）推進事業」に取り組むことになりました。幼・小・中連携学びのかけ橋事業とも重なる部分があるのですが、この事業のご説明をいたします。資料をご覧ください。これは県教育委員会の学校政策課からの文書です。小中一貫教育の推進体制等に関する調査研究を行うというもので、補助率は百パーセントです。県下では牟岐町、阿南市、北島町、東みよし町、三好市で実施します。牟岐中学校と牟岐小学校は施設併設型のパッケージスクール、その他は施設分散型のチェーンスクールという態様での取り組みです。北島町は中学校を中心に３つの小学校があります。本町の場合は、施設分散型・チェーンスクールということで、４校での研究を行います。中１ギャップという言葉がありますが、小学校６年から中学校への円滑な接続をどうやればできるのか、これが大きな目的の一つです。業務委託見積書をご覧ください。諸謝金のところで、10万円を組みました。水谷修氏講演会の講師先生への謝礼です。水谷さんは夜回り先生とし

て有名な人です。10月９日に創世ホールで町ＰＴＡ連合会主催の行事として開かれるので、それを共催するものです。それから７月末と８月に先進地視察ということで、考えています。７月は教頭先生たちが広島県呉市に視察研修に行く予定です。また８月には京都に日帰りで視察に行く段取りもしています。これは各校４名から５名程度の先生で構成して午前１校、午後１校を訪問し研修するものです。予算をマイクロバスの借り上げ料などの経費にします。それから小中一貫教育の解説書を購入することも考えています。先日校長会で協議しましたが、中学校が軸になってこの事業をお世話していこうということで相談がまとまっています。

委員長　ご意見ありますか。

委　員　学校のカリキュラムも小学校・中学校９年間を変えるということですか。

教育長　それは急にはできません。将来はしますが。

委員長　国の法律が変わったらそうなっていくでしょうね。

教育長　全国的には３千校以上が一貫教育です。今からやっておけば北島町は有利でしょうね。

委員長　小・中の教員免許は？

教育長　小学校の先生は７割ぐらいが中学校の教員免許を持っています。一方中学校の先生は２～３割の人が小学校の教員免許を持っています。

委員長　ほかにご意見ありませんか。なければ議事（１）について承認を与えます。次に議事（２)、北島町の国際交流研修事業について、事務局からご説明お願いします。

局　長　国際交流研修事業は、故・酒井徳子さんの尊いご寄付をもとに2000年から実施しています。ホームステイ研修は2001年からで、2005年の第６回からカナダ・バンクーバーを訪問しています。2012年７月にカナダ・サレー市のアールマリオット校と北島中学校が姉妹校締結をしました。今年の派遣生の選考会を５月28日にしました。38名の応募があり、内訳は男12人（２年生３、３年生９)、女26人（２年生17、３年生９）でした。面接や作文による厳正な選考の結果、14名を選びました。学年でいうと３年生が10名（男子６、女子４)、２年生が４名（全員女子）という内訳です。全員が北島中学校の生徒ではなく、城ノ内中学校３年の女子も１名います。姉妹校締結して以降、応募が凄く増えて選考に嬉しい悲鳴を上げています。カナダ訪問の日程は、10月24日(土)出発、11月１日(日)帰着で、その間２人１組でホームステイをします。先日、旅行業者選定の検討委員会をして本年度は日本旅行に決定しました。この事業によって、将来国際的な舞台で活躍をするような人材が出てくれることを期待しています。

委員長　ご意見なり質問はありませんか。

委　員　旅費の負担割合は？

局　長　研修生は約３分の１を負担し、残る３分の２を基金と町の補助で賄います。

次　長　少し補足を。例年、この事業への応募や訪問団は女子が多い傾向にあるのですが、今年は男子の参加者が６名です。昨年は４名でした。どうもこの年代は女子の元気がいいように思います。それから３年前から教育長の発案で、帰国報告会をしています。これは自己アピールやプレゼンテーションの力がストレートに試されるものなので、非常に意義があると思います。そして子どもたちはみんなよく発言をし、海外体験が良い効果を生んでいると感じました。今年も報告会をします。

委員長　ほかにありませんか。よい事業なので、継続してください。そして一人でも多くの人に研修参加の機会を作っていただけるように希望したいと思います。それでは、これで本日の会議を終了します。
全協議終了、午後７時40分閉会を宣する。

以上会議の顛末を記載し、その相違がないことをここに署名します。

平成27年６月24日

書　　記　小西　昌幸
議事録記名　三好久美子
議事録記名　辻村　邦雄